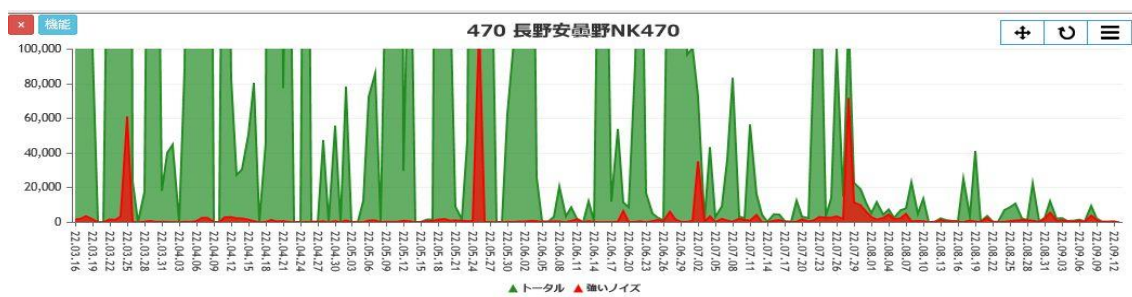


< 中部、東海地区のデータのその後について >

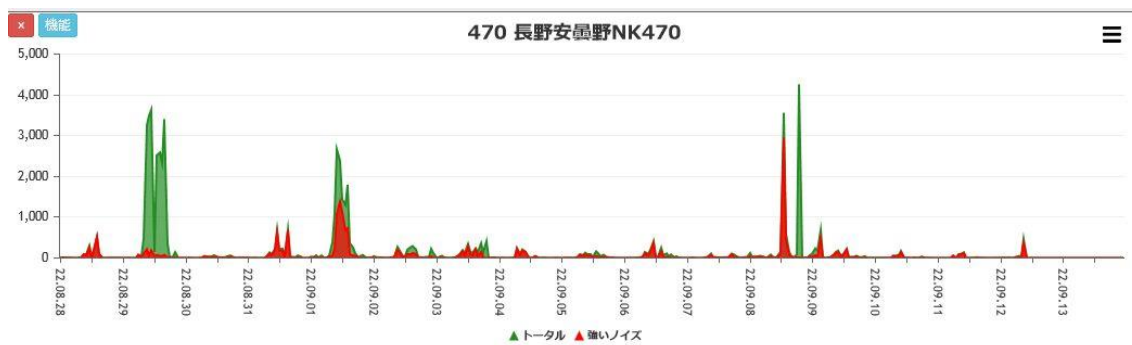
いったん解除した中部、東海地区の大型地震の可能性について、懸案の【浜松市浜北 017】
 【長野安曇野】【伊勢B 261】【伊勢B 262】【伊勢C 330】【伊勢E 481】などが減衰をつづけています。
 【三重志摩】には多少リバウンドが見られますが、全体的には減衰傾向です。
 さらに【八王子】もさらに減衰傾向になってきました。
 最初、5月16日に “中部東海地区にもいくつかの大型データが出ており、いずれも減衰一収束状況に近いと思われます。” としてから、6月、7月、8月とすでに4か月も経過していますが 長く発震が無く、なかなか予想がむずかしい状況です。
 しかしデータを信じてもうしばらくは警戒を続けたいと思います。

中部、東海地区>

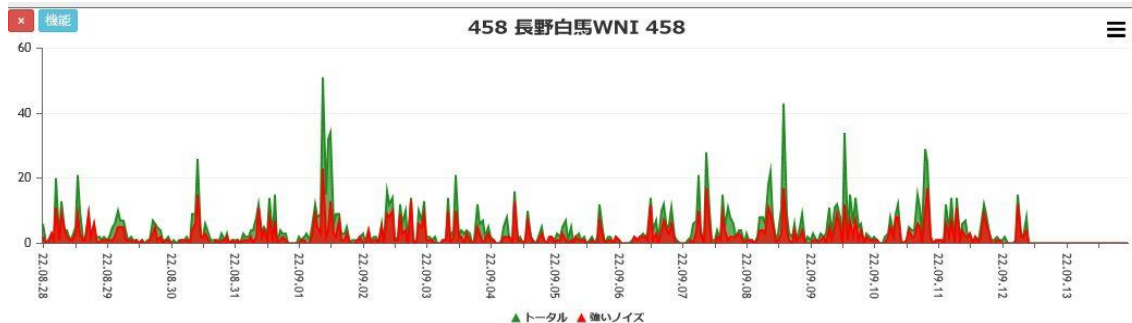
長野安曇野 180日間（日ごと）データの減衰



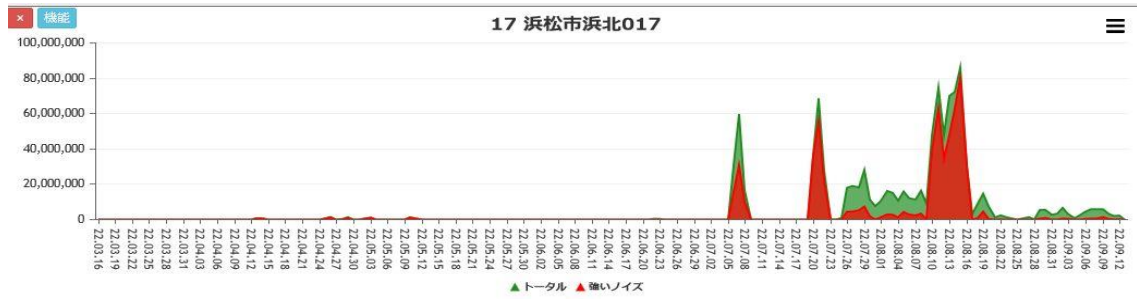
長野安曇野 15日間データ



長野白馬 15日間データ



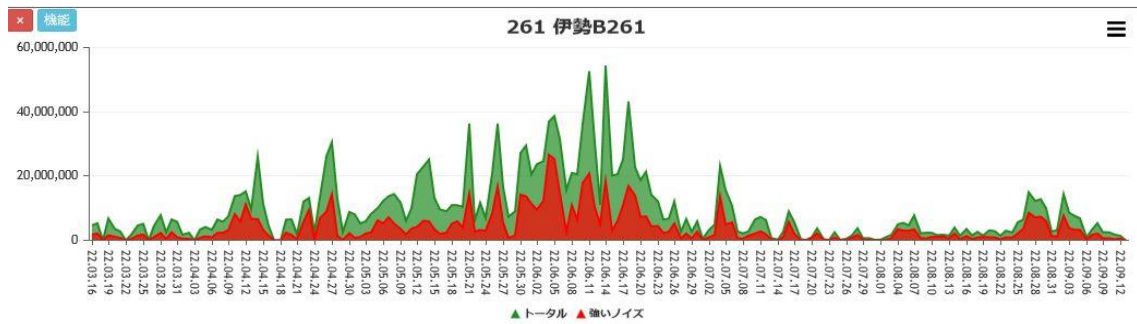
浜北 017 180 日間（日ごと）データの減衰



浜北 017 30 日間データ



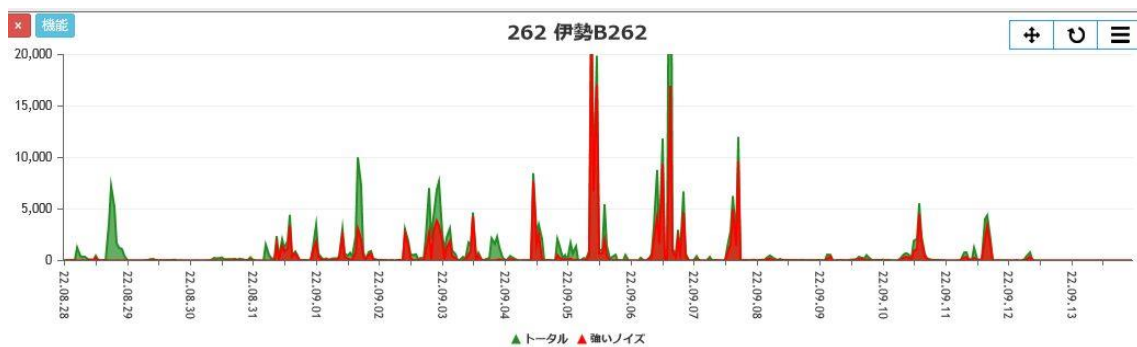
伊勢B 261 180 日間（日ごと）データの減衰



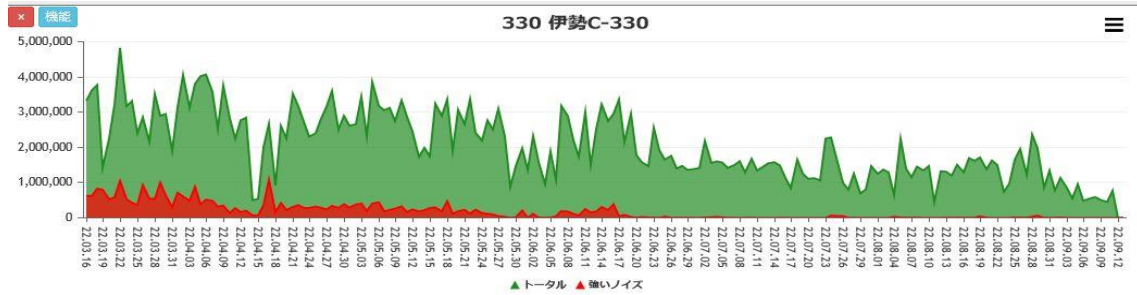
伊勢B 262 180 日間（日ごと）データの減衰



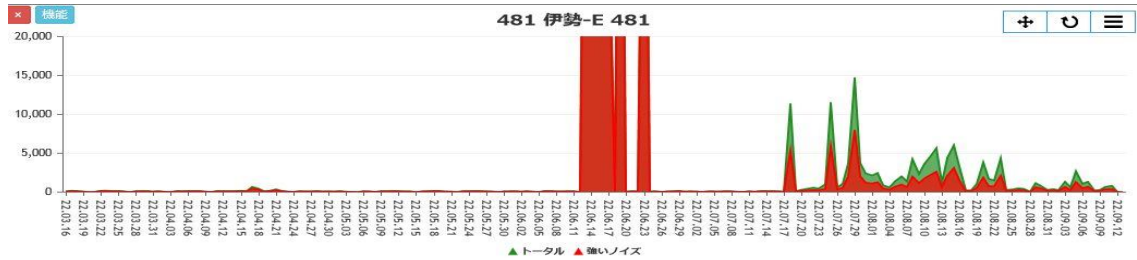
伊勢B 261 15 日間データ



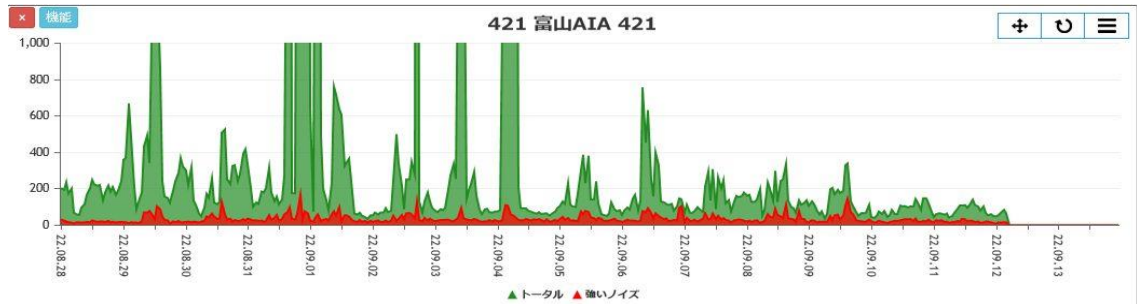
伊勢C330 180日間（日ごと）データの減衰



伊勢E481 180日間（日ごと）データの減衰

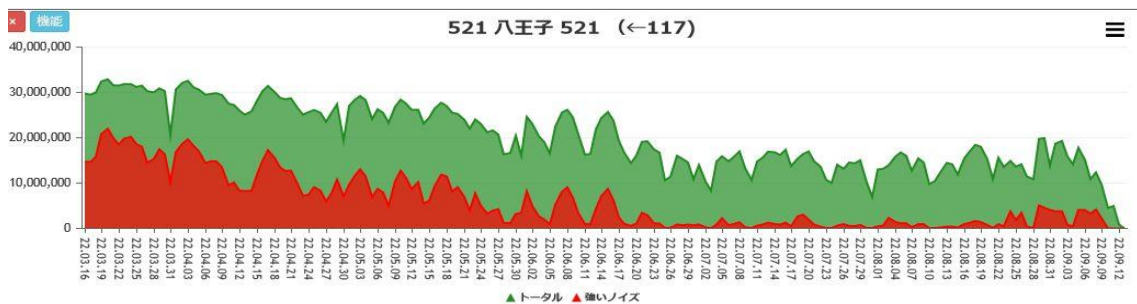


富山 15日間データの減衰

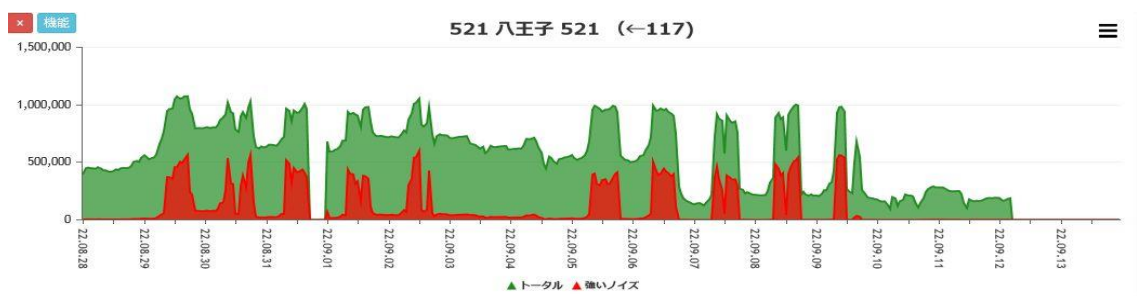


関東地区>

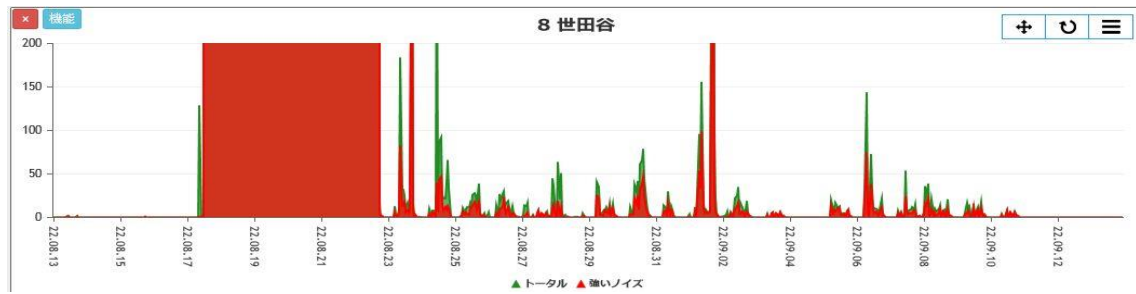
八王子 180日間（日ごと）データの減衰



八王子 15日間データの減衰



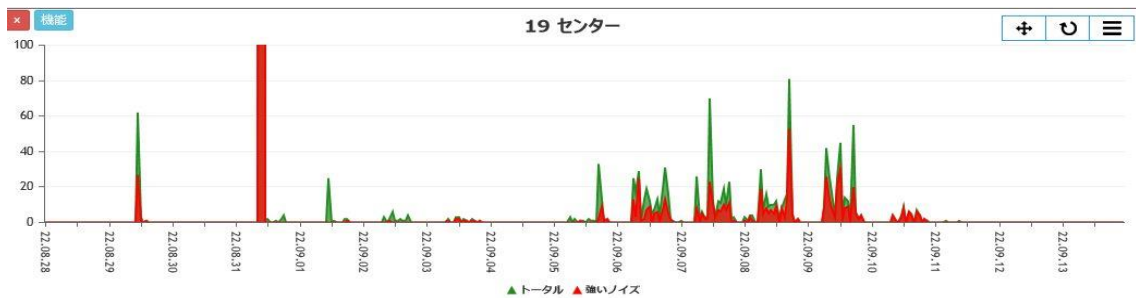
世田谷 30日間データの減衰



世田谷 15日間データの減衰



センター 15日間データ



文京 15日間データ



<満月トリガーの期間>

9月11日(日)は中秋の名月で月齢15の十五夜でした。地震予知的には満月トリガー期間の真ただ中で、この日の前後数日は満月の重力が作用して、大地震を引き起しやすくなる時期として大地震に要注意です。しかし日ごろから地震に対する防災対策を十分にやって、ゆったりと名月を鑑賞したいものです。

